



…さまざまな文化活動を紹介するページ

「ベテラン卓球」に魅せられた愛好者仲間 ～群馬県卓球ベテラン会の活動紹介～



＜ベテラン卓球は

高齢者にふさわしいスポーツ＞

群馬県卓球ベテラン会は県内外の30歳以上の卓球を愛好する男女によって構成されている組織です。今から45年前（1968年2月）に養田勝雄さん（故人・初代会長）という卓球好きの老人が静岡で開催された第1回全国ベテラン卓球大会参加をきっかけに、翌年、群馬で大会を開催したのが会の歴史の始まりです。

年1回の大会では30歳以上の参加者を10歳刻みの種目に配置し、1ブロック4名の予選リーグを経て、決勝トーナメントで成績を競う試合方式を採用しました。予選リーグの導入が、トーナメントオンリーの当時の試合形式と比べ卓球愛好者に新鮮に写り、人気を呼びました。

ベテラン卓球の愛好者は中高年になって初めてラケットを握りその魅力にとりつかれた人や中学・高校時代に卓球を経験したものの途中で挫折した人、不完全燃焼に終わった人が比較的多いのです。

卓球は狭いプレイ領域で、絶えず手足を動かし、動体視力と反射神経が鍛えられ、インサイドワークが要求されるスポーツです。高齢者に最もふさわしい生涯スポーツだといえます。

＜年1回の大会実施から

年12回の大会実施へ＞

養田会長は1969年1月から10年間、一人で参加者を募集し、組合せをやり、プログラムを作成し、毎回数十名の県内卓球愛好者を集め、群馬県ベテラン卓球大会を開催しました。その後、1979年の第11回大会から運営を任された現理事長の針谷正紀氏が会を個人的なものから集团的、組織的なものに変えていきました。

会長・副会長・理事長・事務局長・理事の役職に県内の主なベテラン卓球愛好者が就任し、関東オープンベテラン大会（男女シングルス・混合ダブルス）が新設されました。その後、マスターズ大会（男女シングルス、混合ダブルス、県内オープン）ペアマッチ大会（2名による団体戦、全国オープン）、群馬オープン大会（女子に10歳のハンディを与えた男女混合のシングルス、ダブルス、全国オープン）、ダブルス大会（男女ダブルス・混合ダブルス、全国オープン）、強化リーグ大会（1ブロック7名による総当たりリーグ戦を年6回実施、全国オープン）の5種類の大会を創設しました。7種類12大会のうち県内のみを参加対象とする2大会を除く10大会は全て全国オープンです。このなかでも強化リーグ大会は、競技力別に1ブロック7名

によるリーグ戦を行うため、最低6試合が保障されるところから人気が高い。

＜役員は選手として必ず試合にでる＞

各種ベテラン大会の参加費は一人2千円で、大会プログラム・参加賞・弁当が参加者全員に渡されます。会場費等がかかる費用を除き、参加者には賞品等で還元していきませんが、役員総会・諸会議・反省会費用として参加料の15%前後を残金として積み立てていくため、会の財政は比較的安定しています。

年間12回の大会には毎回平均250余名の選手たちが参加し、参加役員全員がプレイヤーとして競技に参加し、競技と競技運営の先頭に立ち、自らが卓球を楽しみます。そのため、大会本部で競技を進行し、記録等に専念する4～5名の人が必要で、毎回有料ボランティアを確保するのに苦労します。

役員が選手として試合に出ることで、参加している選手の皆さんが競技運営等に関して何を要求しているかを肌で感じ取ることが出来るのです。



＜大会に参加する選手の期待＞

各種大会に参加する選手の皆さんは、大半が週2～3回の練習を定期的に行っており、卓球の面白さを日常的に味わっている人たちです。それぞれの競技力に応じて、「うまくなりたい」「強くなりたい」という願望が強い。

ある程度の基礎が出来ていれば、さまざまなタイプの選手達と沢山試合することによって競技力が向上していく。そのため、一つの大会で可能な限り試合を出来るよう、大会主催者は工夫していかねばならないのです。

ところが、既存の卓球団体（体育協会につながる卓球協会）はその熱的な卓球愛好者の思いを受け止めることが出来ていません。

ベテラン会のように役員がプレイヤーであることを貫けば、大会に参加してくる愛好者の切実な思いを感じ取ることが出来、真剣に参加者を増やす方法を見つけ出せるのではないのでしょうか。

＜現在の卓球スタイルから出発を＞

先日、役員の一人在卓球講習会の講師を依頼され、「ベテラン卓球とは何か」について語りました。そのなかで最も共感を呼んだのは、「ボールをとらえるフォームは多様でよい。現在のフォームから出発し、自身が変わる必要を感じたら変えればよい」という言葉です。ベテラン会の試合に出る人の卓球スタイルは実に個性的です。きれいなフォームの選手の競技力が高いとは限らない。「速さ・回転・コース」という卓球の三要素をそれぞれの立場から組み立て、練習や試合のなかでためしていくことです。

「ベテラン卓球」という未踏のジャンルに挑戦し、中高年の人たちに卓球を普及し、元気に老いる道を提示していきたいと思っています。

群馬県卓球ベテラン会

〒375-0004 藤岡市森 甲239
針谷 正紀 方

TEL 090-5573-1586

E-mail nre1943252@nifty.com

http://gunmabeteran.hp.infoseek.co.jp

設立 1969年1月

会員 938名(2011.4.23現在)

2010年度の大会参加の人数は3000名を超えています。年間6回開催される、競技力別に分かれて競われる強化リーグ大会の人気は高く、申込開始1週間で定員をオーバーしてしまいます。会員の競技力は、初心者から全日本卓球選手権大会マスターズの部ベスト4までの広がりを持ち、30歳から83歳の年齢の人によって構成されております。